

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【LGBTQ に関する教育】	LGBTQ に関する研修を教職員で行い、理解を深めた。その後、研修の内容を基に、各学級の学級活動や道徳の授業でLGBTQについて考える時間を設けた。動画の視聴を通して、LGBTQ への理解や、偏見のない社会を構築していくためにはどのような心構えや実践が必要なのかについて個人で考えたり、グループや学級で討論をしたりした。また、総合的な学習の時間にSDGsの観点からLGBTQに触れることで、理解を深めた。 成果 LGBTQ について、言葉だけしか知らなかった生徒が多数おり、理解を深めることができた。また、これまでの生活で、無意識のうちに偏見をもっていたことを振り返ることができ、改めて偏見のない社会構築のために必要な心構えを、生徒一人一人がもつことができた。 課題 LGBTQ をはじめとする、意識による個人の違いや個性は、目に見えないものであるが故に、察する力が求められる。生徒の振り返りの中には、察したり感じとったりすることに対しての自信のなさや不安について触れているものも多かった。
2 実践2 【生徒総会におけるいじめ撲滅宣言と道徳における実践】	5月に行われた生徒総会で、全校生徒でいじめ撲滅宣言を行った。また、各学級の道徳や学級活動でいじめが起きない集団をつくるためにはどのような心構えが必要か討論した。思いやりと感謝、相互理解と寛容、友情と信頼、社会正義についても随時取り扱うことで、いじめを生まないための取り組みができていのか定期的に振り返りを行った。 成果 様々な角度からいじめに焦点を当て指導や討論を行うことで、いじめについて深く考えることができた。普段の言葉づかいや他者に対する関わり方を振り返り、いじめは絶対に許されないもので、集団の中でいじめを起こさないようにしようと強く決意することができた。 課題 いじめを起こさないことを強く決意することができた一方で、辛い立場にある友達に対して寄り添うことに難しさを感じている振り返りが少なくなかった。友達や集団の仲間に対して寄り添う態度を今後さらに醸成していくことが必要だと感じている。